

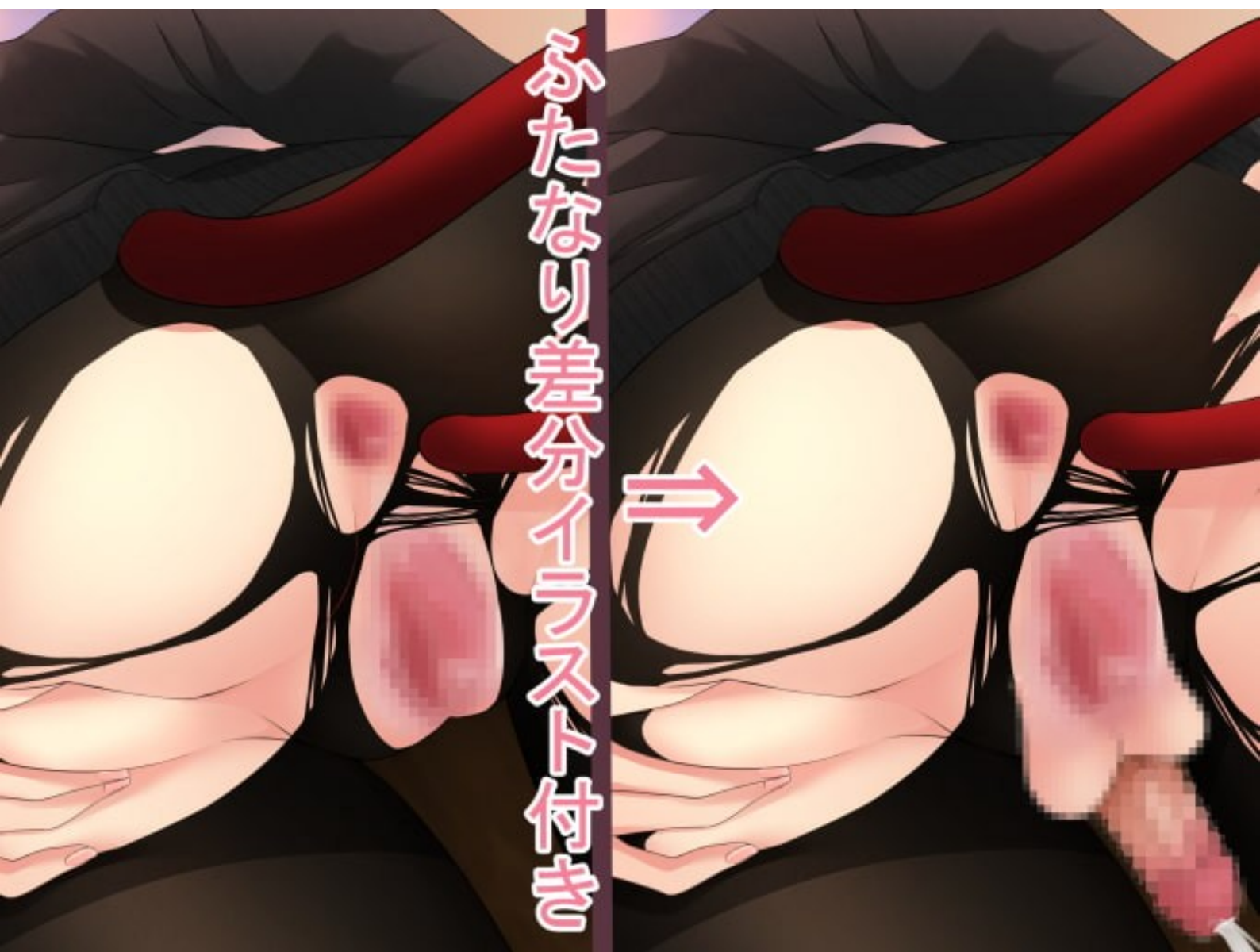


サキュバス
お姉ちゃんの
搾精性生活

全33ページ(基本CG6p+差分+ふたなり差分2p)



自分のパンツでオナニーをしている弟を
覗き見てしまったお姉ちゃん

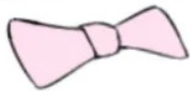


サキュバス
お姉ちゃんの
搾精性活



（我慢できなくて盗んできちゃった
こんなの見られたら絶対怒られる
でも……）

むんむん



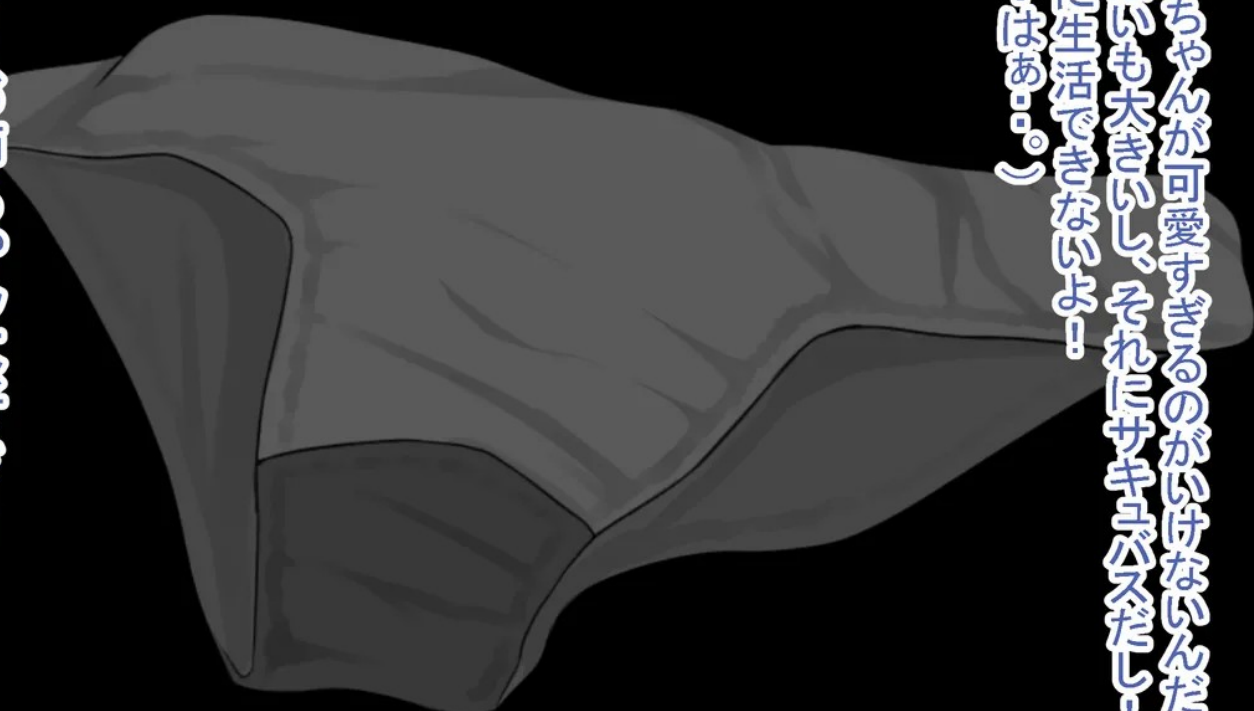
むんむん

（陽菜お姉ちゃんのパンツいい匂い……
ほんのちよつと酸っぱいにおいがする……）





（お姉ちゃんが可愛すぎるのがいけないんだ！
おっぱいも大きいし、それにサキユバスだし！
普通に生活できないよ！
はあ…はあ…。）



「イッキそう！お姉ちゃん大好き！
出すよ！菜奈お姉ちゃん！
陽菜お姉ちゃんっ…！！」

「またいけないことしちゃった…。
こんなに出すと洗うのに時間がかちやう…。」



「葉奈お姉ちゃんがパンツ探してたし
べれる前に早く片付けなきや…。」

べちよおー



にゅちよ

《全部見てるんだけとなあ...。
あんな大胆に出しちゃって》

ニッコリ

ふふっ♡

《お姉ちゃん、性的な目で観られてたんだー
最近話してるとおっぱいに目がいつて...
そういうことだったのね
ふふ可愛い弟君♡》

《素直になればいいのに》

（やだ…。
お姉ちゃんもムラムラしてきちゃった…。
あんなの見せられたら…。）



（身体も変化してきちゃってる…。
下半身がウズウズする…。）

二人のお姉ちゃんの年上、
菜奈は何故かサキユバスの身体を
持つて生まれた

その身体は人間とは比にならない程
性欲が強く

また、定期的な性処理を怠ると
サキユバスに変化してしまう



ムラムラ止まらないっ…!!
どうしよう…はあはあ
弟君食べちゃいたい…。

（だめっ！）

家族関係に良くないかも…。
それに一度してしまえば歯止めがきかないはず
また一人で処理すればいいの泣

うねうね

（でも…。欲しい…。
一人でするのも飽きてきちゃったし
毎日ちんぽの事考えて…。
もうダメかも…。）

ズツ

（弟ちんぽ欲しい…。
ちんぽ…。
ちんぽお…。
念願の生ハメセックス…。）

「欲しい…。」

「ゆうくーんっ♡」
ぎゅっ

「パンツ探してるんだけど
どこかわかる？」

「お姉ちゃん！」

「最近パンツが足りない時があるの…」

「わあわかんないよ。」

「お姉ちゃん、洗濯が間に合わないと
ノーパンで過ごさなきゃならなくて…」

ビクッ



「あっ、あったあ」

「なんでここに」にあるのかな？」

「『めんなさい！』」

「それに、このお姉ちゃんのパンツについてる
白いどろどろのな」に？」

「もしかしてお姉ちゃん達のパンツで
オナニしてたの？」

「お姉ちゃん！」

「な」に？」

「陽菜お姉ちゃんには言わないで」



「なるほどねえ」

（これを弱みに…ふふっ）

「だめ？お願い」

「いいわよ、でも条件があるの」

「お姉ちゃんの「お願い」をきいてくれるなら
陽菜には言わないでおいであげる」

「何でもするよ！」

「ほんと？」

「うん…。」

しよぼーん

ふにゃ

「それじゃあ」

「ゆう君の精液を貰おうかしら♡」

「へ？」

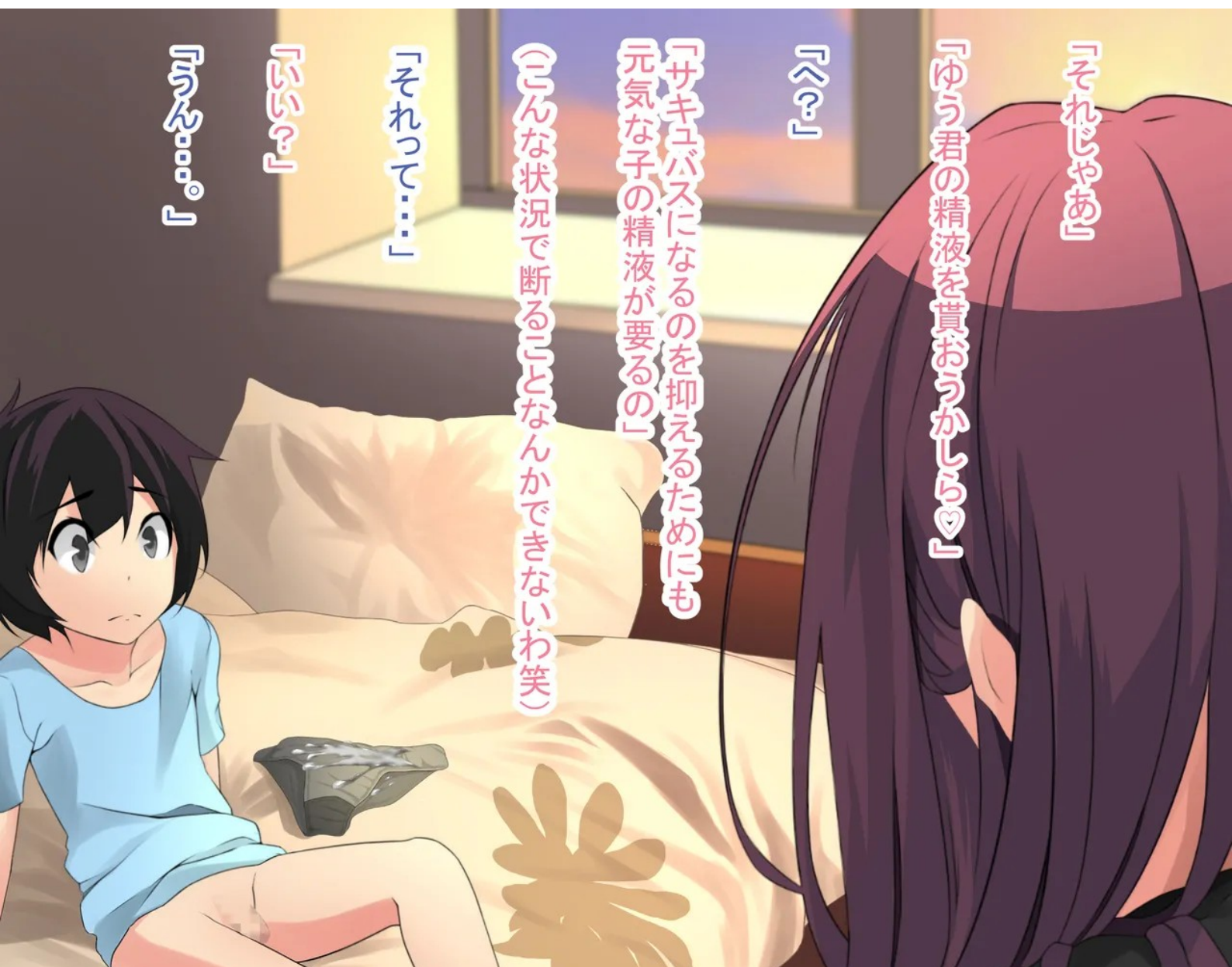
「サキユバスになるのを抑えるためにも
元気な子の精液が要るの」

（こんな状況で断ることなんかできないわ笑）

「それって…」

「いい？」

「うん…。」



「今まで一人で慰めてきたけど
もう我慢できないの……」

「だから……ね？」

「お姉ちゃん！
サキユバスに乗っ取られてるよ！」

「そんなことないわ
大好きなお姉ちゃんをお願い聞けないの？」

(ゆう君お願い！欲しいの……)

「好きよ。ゆう君」

「僕も！」

「ちようだい♡」





「見てえ」の尻尾おまん」と

「サキユバスの尻尾は
色んなものに変形できるの」

「なかでヒダヒダがうねうねしてる…」

（尻尾おまんこにいれてしまえば
ゆう君も快感に溺れるわ）

（そしたら主導権はこっちのものよ）

うねえ

どろお

ムチ
イ
イ

ふふっ

「このヒダヒダ意図的に動かせるのよ。ほらあ。」

「しかも半透明で興奮しない？」

「ちょっと怖いけど、挿れたい！」

「大丈夫よ。優しくしてあげるわ」

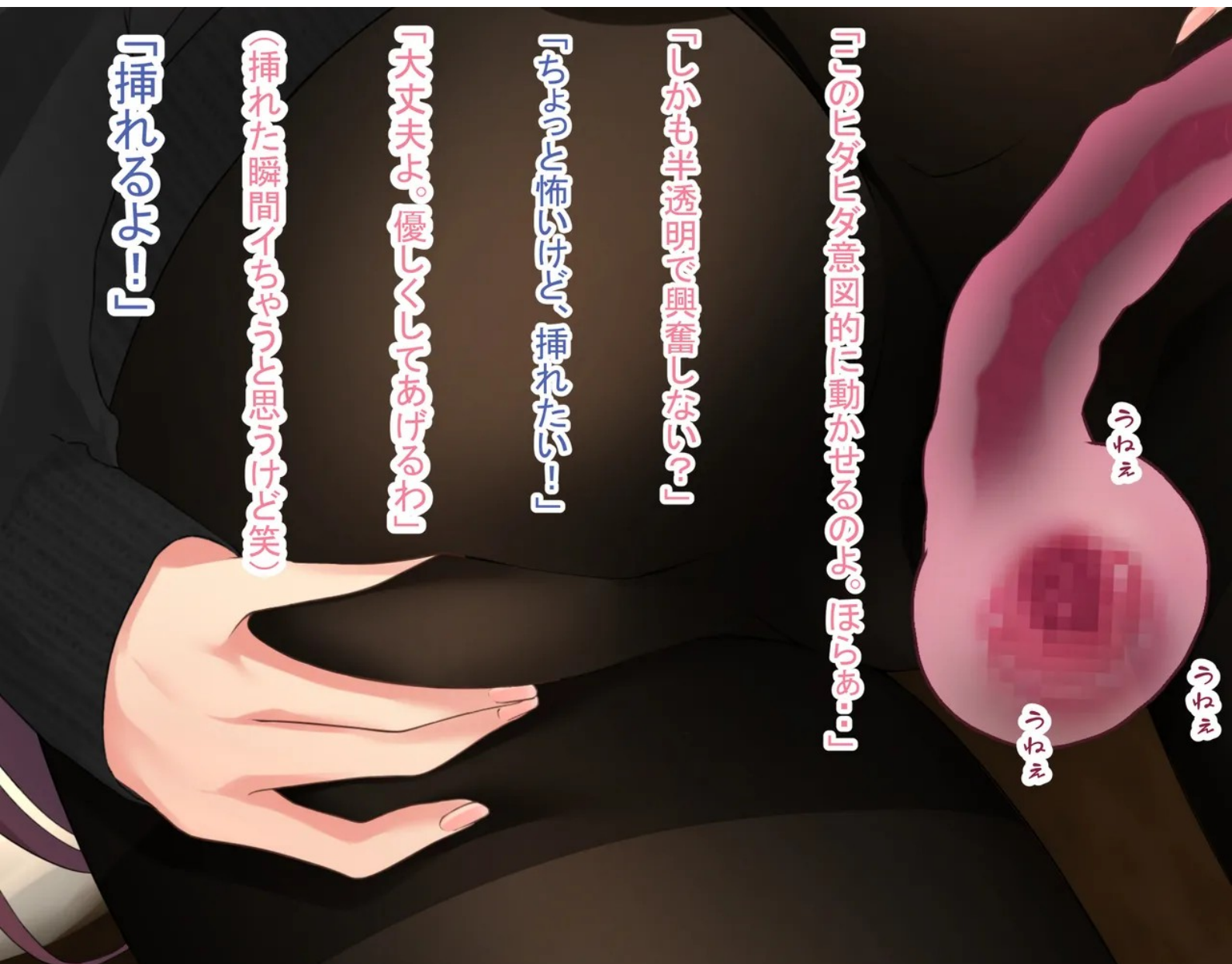
（挿れた瞬間イチャうと思うけど笑）

「挿れるよー！」

うねえ

うねえ

うねえ





「きたあ。。」

「どう？すっく気持ちいいでしょ？」

「うん。きつつくて、もうダメかも我慢できないよ！」

「中に出して、我慢しないでいいよ！」

（初めての精液♡）

ずっぽ

にゅちゅ

ずっぽ

にゅちゅ



「こんなに出しちゃって♡」

「ゆう君の身体に染みわたってくるわ…」

「はぁ…はぁ。気持ちいいっ…うっ」

（サキユバスの活力になるとも知らずに笑）

「次はお姉ちゃんのおまんこで…」

ちやうちやうち

ドロオ

ふふっ

ふふふ

くぱ

ビツヲヨリ

「タイツを破ってっ…
ゆう君のせいでノーパンなのよ」

「お姉ちゃんのおま…」

「大好きな人の生マン」よお…」

「お姉ちゃん処女なの
おもちゃで慣れてはいるけど
優しくしてね？」

「うん！」

「お姉ちゃん血が…」

「大丈夫よ！もっと激しく腰ふって！」

「あんっ…いいわよ。もっともっ」と

（おもちゃと全然違う！
あったかくて中でビクビクしてるっ！）

（いつも二人でしてる時みたいにお尻にも挿れたら…）

じゅっぽ

ぱん

ぱん

ぱんっ

いと

あん

あん

うっう







(弟セックス最高ッ...)

びくっ

びくっ

びく

びく

びくっ

ドロオオ

その後も、菜奈は弱みを利用し弟を犯し続けた
ただただ快樂のために……

『ゆう君おしり空いてるわよ。ほらあ……
まだまだ物足りないの、挿れてええ』

『お姉ちゃんさっきお風呂でしたばっかじゃん!』

『約束わすれたの? ねえ早くうつ!』

（おちんぽおちんぽ欲しいいい弟セックスやめられない!）

『うつ……。これが最後だよ!』

「いいわよおゆう君…」

（おしり気持ちいいっ
日に日に感度上がってきてる）

「そんなヒクヒク動かさないでっ！」

「ふふ。また大きくなった
出そうなの？出していいよお」

ひく

ひく
ぱん

「いくううー！」

ぱん

ぱんっ

いっ
いっ
いっ

あん

あん



「きたああたたくさん出たあ」

（弟ちゃんぽおお！
いつもみたいに失神しちゃうかもっ！）

「もう…十分でしょ…」

「まだまだよ。ゆう君
次はお姉ちゃん生マンコにハメハメして♡」

「ああっ、もうこうなったら失神するまで…」

ドロオ

びくんっ

びくんっ

びくんっ

びくんっ

「ちんぽきたああ」

「ゆう君のちんぽ入っただけでいつちやううっ!」

「急にきつくなつて…これすゝすぎるよ!」

「え?お姉ちゃんおっぱいから…」

「なにこれ!気持ちいいダメダメ
またイクうっ!」

びくんっ

ブシャーッ

ダメだ
こんなきついと...

きゅーっ

きゅん♡

きゅん♡

ビクビク止まんない
早く出して・だしてええ

ドピュウん♡

ドピュウ

ドピュウ♡

「いっくうううううー！」

(ちんぽひやい「う……」♡)

「お姉ちゃん？」

「失神しちゃったか……」

びくんっ

ドロオ

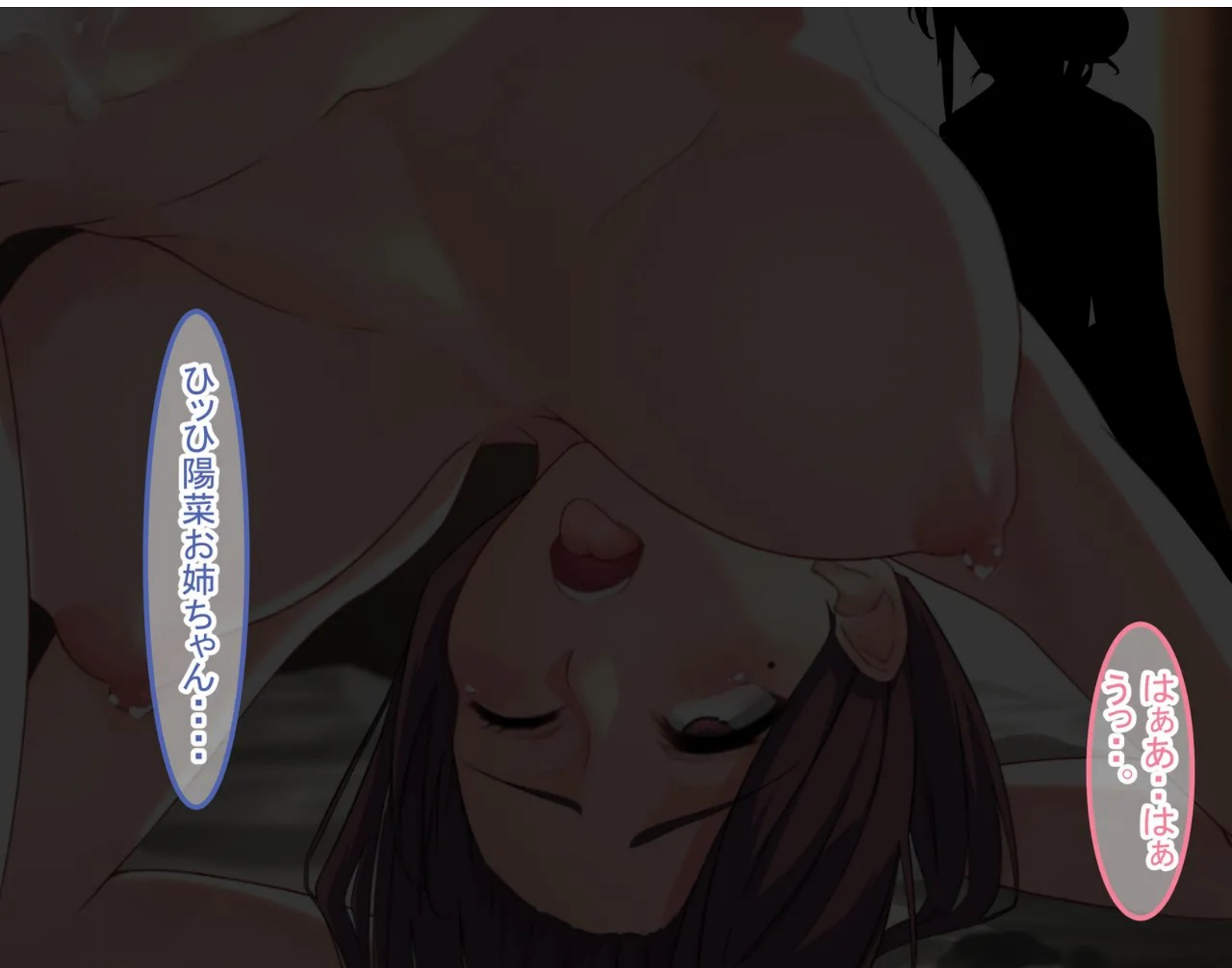
びくんっ

あへえ

ポタッ

びくんっ





ひっひ陽菜お姉ちゃん……

はぁぁ……はぁ
うっ……



ご購入ありがとうございました！

最後のページにもう一人のお姉ちゃん陽菜が出てきたように
続編としてお姉ちゃん二人と弟のCG集を作成しようと考えています。
いつになるかわかりませんが、ぜひ次回作もよろしくお願いします！

のぶくろ



